

令和6年6月25日(火)

17:00～18:30

対面及びオンライン開催

### 季節調整値について

◎2024年4-6月期以降に用いるX-12-ARIMAスペックについて、検討結果の報告(資料2)の後、事務局案(資料1)の提案を行った。

◎委員からの主な意見

- ・モデルの推定は1985年からのデータにより行っているとのことだが、以前からデータの開始時期は1985年に固定しているのか。長期間のデータによりモデルを推定すると、モデルはあまり変わらないのではないか。

⇒ モデルの推定に利用しているデータの期間は、1985年以降に固定している。そのため、モデルの変更が生じにくい面はあると考えられる。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行期などでは、データが大きく動き、それによってモデルが変更されることもあった。モデルの推定に利用するデータの開始時期が現行のままでよいのかについては、一度検討が必要と考えている。

- ・1985年以降累積していくデータで季節調整を行っているうえに、AICによって上位となった候補について、さらにSRで上限を付けて除外しているのか。

⇒ 全体的にみると、SRの値が大きくなっている系列はそれほど多くはない。過去これまで、SRの上限を超えたものを候補から外す方法を継続してきた中では、過去の大きな変化についてダミー変数を入れていることの影響はあると思われるが、現在まで特段問題があるとは認識していない。

- ・過去の研究会において、開業準備中法人の取扱いの見直しを行い、2023年7-9月期調査から開業準備中法人を調査結果に含めることになっていたと思われる。それにより、同期の設備投資額が大きく増えれば、季節調整結果にも影響があるのではないか。しかし、2023年7-9月期調査結果の設備投資額の原系列を見ると、それほど増えていないようである。

⇒ 2023年7-9月期調査から開業準備中法人を結果に含めているものの、結果的に開業準備中法人を含めた場合と含めない場合の設備投資額に、大きな差はみられなかった。なお、2023年10-12月期及び2024年1-3月期調査においては、自動車など様々な業種で設備投資が増えた影響により、全体として設備投資額が増える結果となった。

◎事務局取りまとめ

- ・2024年の4-6月期以降に用いるX12-ARIMAモデルのスペックについて、議論に上がった利用データの開始時期については将来の検討点とし、今回は事務局案のとおり検証結果に沿って最適モデルが現行モデルと変わった系列について、ARIMAモデルの変更を行うこととしたい。

(以上)